

化学肥料低減計画書

作付概要

作物名	作付面積(a)
水なす	15
しゅんぎく	10
その他	10
計	35

作物名・作付面積は
取組を行う主要な農作物について記入
してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北〇〇〇
電話番号	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「〇」を付してください。
- 2 「令和4年度又は令和5年度を取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。
そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は 令和5年度を取組
ア 土壌診断による施肥設計		○
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	◎
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア〜スに係るものを除く)		
ソ 地域特任技術の利用(大阪エコ農産物の生産)		

◎(従来の取組の強化・拡大)は
・新たな品目で実施する
・(品目は変わらないが)取組面積や回数
を増加するなど

令和4年度又は令和5年度に取り組む内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア〜ソ)	取組内容(予定)
ア	時期: 令和5年8月 対象作物: 水なす 取組面積: 15a 内容(資材名など): 新たに土壌診断を実施し施肥を行う。
エ	時期: 令和6年2月 対象作物: しゅんぎく 取組面積: 10a 内容(資材名など): 水なすに加えてしゅんぎくでも堆肥を利用
	時期: 対象作物: 取組面積: 内容(資材名など):

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

当年(令和4年6月~令和5年5月)の肥料として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) 咲洲 太郎

化学肥料低減計画書

作付概要

作物名	作付面積(a)
水稲	30
じゃがいも	10
その他	5
計	45

作物名・作付面積は
取組を行う主要な農作物について記入
してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北〇〇〇
電話番号	06-〇〇〇〇-〇〇〇〇

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「〇」を付してください。
- 2 「令和4年度又は令和5年度」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。
そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は 令和5年度
ア 土壌診断による施肥設計		
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		○
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く)		
ソ 地域特任技術の利用(大阪エコ農産物の生産)		○

前年度までの取組がない場合は、
令和4年度又は5年度

令和4年度又は令和5年度に取り組む内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア～ソ)	取組内容(予定)
ク	時期: 令和5年10月 対象作物: 水稲 取組面積: 30a 内容(資材名など): 新たにれんげ米栽培に取り組む
ソ	時期: 令和6年2月 対象作物: じゃがいも 取組面積: 10a 内容(資材名など): 新たに大阪エコ農産物の認証を受ける
	時期: 対象作物: 取組面積: 内容(資材名など):

- ① 大阪エコ農産物の認証(年2回申請:7月・1月)を受けた後、
- ② 令和6年3月末日までにエコ栽培を開始する必要があります。(認証のみは×)

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり

当年(令和4年6月～令和5年5月)の肥料として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) 咲洲 太郎

化学肥料低減計画書

作付概要

作物名	作付面積(a)
ぶどう	100
その他	10
計	110

作物名・作付面積は
取組を行う主要な農作物について記入
してください。

氏名(法人・組織名)	咲洲 太郎
住所	大阪市住之江区南港北000
電話番号	06-0000-0000

- 1 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
- 2 「令和4年度又は令和5年度を取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。
そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は 令和5年度を取組
ア 土壌診断による施肥設計		○
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	○
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)	前年度までに取組を行っており、 継続(面積・回数等変更なし)して 実施する場合	
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、かん注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア〜スに係るものを除く)		
ソ 地域特任技術の利用(大阪エコ農産物の生産)		

令和4年度又は令和5年度に取り組む内容(時期、対象作物名、面積、資材名など)を記入してください。

記号(ア〜ソ)	取組内容(予定)
ア	時期: 令和5年10月 対象作物: ぶどう 取組面積: 40a(1園地) 内容(資材名など): 新たに土壌診断を実施し、施肥を行う。
キ	時期: 令和5年9月 対象作物: ぶどう 取組面積: 100a 内容(資材名など): パーク堆肥を引き続き施用(1.5t/10a)
	時期: 対象作物: 取組面積: 内容(資材名など):

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。

当年(令和4年6月~令和5年5月)の肥料として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) 咲洲 太郎